

日本周産期・新生児医学会
第35回周産期学シンポジウム演題募集要項
テーマ：周産期医療における「遺伝」を考える

会 長：光田 信明（大阪府立母子保健総合医療センター産科主任部長）
会 期：2017（平成29）年2月10日（金）、11日（土：祝日）
会 場：グランフロント大阪 コングレ・コンベンションセンター

演題募集

近年の臨床遺伝学における知識・技術の進歩は目覚ましく、既に周産期医療において遺伝学的知識は不可欠のものとなっております。また、胎児・新生児のメンデル遺伝疾患のみならず、母体および胎児・新生児の遺伝性疾患感受性や胎児・新生児の発育に対するエピジェネティックな影響が検討されるようになりました。さらに、non-invasive prenatal genetic testing (NIPT) や着床前スクリーニングなどの新しい検査技術が臨床に導入され、より深い倫理的考察が必要とされ、専門的対応が可能な人材の育成も求められています。このような時代背景や社会的ニーズから、今こそ周産期における「遺伝」に正面から取り組むべき時が到来しているものと判断いたしました。

「遺伝」という広い概念を「周産期医療」という立場から捉えた、あるいは「周産期医療」を「遺伝」という切り口から捉えた演題を募集いたします。沢山の応募を期待しております。

キーワード

染色体異常、trisomy 21、trisomy 18、trisomy 13、微細欠失症候群、奇形症候群、骨系統疾患、脳形成異常・先天性水頭症、先天性心疾患、神経・筋疾患、dysmorphology、先天性代謝異常症、性分化疾患、新生児マススクリーニング、インプリンティング、常染色体劣性遺伝、常染色体優性遺伝、X連鎖性劣性遺伝、X連鎖性優性遺伝、促進現象、キメラ、モザイク、アレイCGH、SNP アレイ、次世代シーケンス、エクソーム解析、エピジェネティクス、GWAS (Genome-wide association study)、NIPT (Non-invasive prenatal genetic testing)、着床前スクリーニング、受精卵診断、絨毛検査、羊水検査、出生前診断、遺伝カウンセリング、遺伝カウンセラー、遺伝学的検査における倫理、親子鑑定、不妊遺伝子、発症前診断、遺伝子治療、酵素補充療法

応募要項

1. 演題応募を希望される方は、学会ホームページから「応募用紙」「抄録用紙」および「発表者の利益相反自己申告書」をダウンロードしてください。
2. 同一施設からの応募数に制限はありませんが、同一発表者が複数の演題に応募することはできません。
3. 発表者は原則として会員かつ単名に限ります。なお、共同研究者等の名前を示す場合は、演題発表の際に謝辞等として示してください。
4. 「応募用紙」に必要事項を記載の上、抄録本文および「発表者の利益相反自己申告書」と共にE-mailの添付文書として学会事務局宛に送信してください。
 - 1) E-mailの件名は「第35回周産期学シンポジウム応募演題」としてください。
 - 2) 「応募用紙」のファイル名は発表者名-応募用紙とし、拡張子を付けてください。
(例：山田太郎-応募用紙.xls)
5. 抄録本文は1,600字以内とし、MS Word形式で保存してください。
6. 抄録は、目的、方法、結果、考察、今後の研究計画の順に記載してください。
7. 抄録本文には、応募者およびその所属施設を特定可能な、氏名、施設名、論文名、演題名等を記載しないでください。なお後日、最終演題に採用された場合は、プログラム抄録には具体的な所属施設等を記載していただいて結構です。
8. 抄録本文のファイル名は発表者の名前とし、拡張子を付けてください。
(例：山田太郎.doc)
9. 個人情報や生命倫理等、特に倫理的配慮を必要とする研究である場合は、行った具体的配慮について本文中に記載してください。
10. 演題応募に際しては、前向き・後ろ向き研究に関わらず、倫理委員会・治験審査委員会等の承認を受けてください。
11. 送信先：info@jspnm.org (日本周産期・新生児医学会事務局)

*受付後、1週間以内に事務局よりE-mailにて「抄録受付」のお知らせをいたします。連絡のない場合には確認をお願いいたします。

*抄録の採否は周産期学シンポジウム運営委員会で討議し、2015年11月30日（月）までに採用候補演題か否かをお知らせいたします。

*採用候補演題の応募者には、2015年12月18日（金）の選考会（場所：東京）に参加していただき、7分間の発表（スライドを用いたプレゼンテーション）と8分間の討議を行っていただき最終選考会候補演題を決定します。

*最終的な第35回周産期学シンポジウム演題採用は、2016年6月中旬の最終選考会での候補者発表後に決定する予定です。

*「応募用紙」「抄録用紙」「発表者の利益相反自己申告書」の拡張子について：ダウンロードした書類には、xls、docの拡張子が付いていますが、ご送信いただく場合は、xlsx、docxの拡張子でも構いません。

〔演題応募上の注意〕（「応募用紙」への入力に関して）

1. 青色のセルは入力用です。テキストを入力してください。
2. 黄色のセルは選択用です。選択肢の中から選択してください。
3. 演者情報には、演者の氏名と会員番号を入力し、会員／非会員および主な診療科を選択してください。非会員の会員番号は9999999（7桁）を入力してください。非会員の方は、速やかに会員手続きの開始をお願いいたします。学会ホームページから入会手続きができます。

お問い合わせ先：日本周産期・新生児医学会事務局

TEL：03-5228-2074 FAX：03-5228-2104 E-mail：info@jspnm.org

4. 発表者の連絡先を入力してください。住所は市区・町・番地の欄に分割して入力してください。E-mail確認入力の欄にはコピー＆ペーストせずに、アドレスを入力してください。赤

字で「E-mailアドレスを確認」と表示される場合は、前の欄と食い違いがありますので、確認してください。

5. 演題名を入力してください。演題名は改行せず、1行に入力してください。サブタイトルがある場合は、2行目に入力してください。
6. キーワードを選択してください。
7. チェックリストの各項目を選択してください。特別な倫理的配慮が必要ではない演題の場合は、「配慮不要」および「倫理的配慮不要」を選択してください。

以上

【利益相反に関する自己申告書の提出】

日本周産期・新生児医学会が定めた利益相反指針及び指針細則に則り、「発表者の利益相反自己申告書（様式1-3）」の提出が必要となります。様式1-3は、応募演題がヒトを対象とする臨床研究の場合に限り、発表者及び研究責任者の2名の提出が必要となります。原則として利益相反の有無は演題の採択には影響しません。演題が採択された場合、利益相反状態の有無にかかわらず、応募演題の最初のページ（スライド）に明記してください。

◆利益相反状態にある場合の記載例

発表者：〇〇 〇〇

研究責任者：〇〇 〇〇

所属：△△△△産婦人科

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態は以下のとおりです。

- ・報酬/〇〇製薬株式会社
- ・講演料/□□製薬株式会社
- ・原稿料/◇◇製薬株式会社
- ・研究費・助成金（寄付講座所属）/株式会社××

◆利益相反状態にない場合の記載例

発表者：〇〇 〇〇

研究責任者：〇〇 〇〇

所属：△△△△産婦人科

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。

※応募締切：2015年10月30日（金） 12：00必着

※送信先：E-mail：info@jspnm.org

日本周産期・新生児医学会事務局

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30 メジカルビュー社内

電話：03-5228-2074 FAX：03-5228-2104

2015年4月

日本周産期・新生児医学会
周産期学シンポジウム運営委員会

※「応募用紙」「抄録用紙」「発表者の利益相反自己申告書」は、以下からダウンロードしてください（学会ホームページ）。

応募用紙：http://www.jspnm.com/syukai/doc/oubo_35.xls

抄録用紙：http://www.jspnm.com/syukai/doc/syoroku_35.doc

発表者の利益相反自己申告書：http://www.jspnm.com/syukai/doc/rieki_35.doc

※利益相反指針及び指針細則について

<http://www.jspnm.com/aboutgakkai/pdf/rss120622.pdf>をご覧ください。